

人の可能性を照らせ。



2021年4月5日
株式会社 QD レーザ

神奈川県リハビリテーション病院に「レティッサ・ディスプレイ II+RD2CAM」導入頂きました

神奈川県リハビリテーション病院様（神奈川県厚木市、以下「神奈川県リハビリテーション病院」）に株式会社 QD レーザ（神奈川県川崎市、代表取締役社長 菅原充、以下「当社」）製の眼鏡型網膜投影デバイス、レティッサ・ディスプレイ II+RD2CAM をご導入頂きました。

国内屈指のロービジョン外来を有する神奈川県リハビリテーション病院に当社の眼鏡型のビジリウム®テクノロジー、レティッサ・ディスプレイ II+RD2CAM をご導入頂きました。

同病院のロービジョン外来では視能訓練士やスタッフの方々が見学リハビリテーションとして、ロービジョン支援機器の紹介から使い方の訓練などを行っています。その選択肢の一つとして、今回、レティッサ・ディスプレイ II+RD2CAM が加わります。

詳細は下記同病院、ロービジョン外来までお問合せください。

- 問い合わせ先： 神奈川県リハビリテーション病院
代表 046-249-2220



RETISSA Display II+RD2CAM

当社レーザ網膜投影は、網膜をスクリーンとしたレーザープロジェクタです。

前眼部のピント調節機能を使わずに、網膜に直接ピントの合った画像を映し出します。

（この機器は網膜に映像を直接投影するものですので、網膜が機能していない場合には使用できません。また、実際に見えるかどうか、または見え方の程度は個人差があります。）

※RETISSA Display II は医療機器ではありません。特定の疾患の治療や補助、視力補正を意図するものではありません。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 QD レーザ 視覚情報デバイス事業部

メール：retissa@qdlaser.com

以上